

Weekly Report

東京お茶の水ロータリークラブ



2024-25年度RI会長 ステファニー A. アーチック
ロータリーのマジック
 第2580地区ガバナー 石川 彌八郎
 隔たりを取り除き、「ご縁」を大切に

ロータリー活動を
 最大限に楽しもう!

2024-25年度 クラブ会長 海江田 健司

本日の卓話

クラブ協議会

4/9 地区研修協議会の報告

司会進行

点鐘
 君が代・奉仕の理想
 ゲスト・ビジター紹介
 ニコニコボックス報告
 会長報告
 幹事報告
 副幹事報告
 出席報告

和田 夏彦会員
 海江田健司会長
 神保 宏充会員
 相倉 辰徳会員
 和田 夏彦会員
 海江田健司会長
 中野 広行幹事
 木村良成副幹事
 和田 夏彦会員

幹事報告 中野 広行幹事

- ・4 月度新旧合同理事役員会を開催いたしました。
- ・次週 9 日は地区研修協議会のため休会です。次回 16 日はブックハウスカフェでの例会です。お間違えのないようにお願いします。
- ・大船渡大規模山林火災支援金、および月 1 回断食基金へのご協力、ありがとうございました。

副幹事報告 木村 良成副幹事

- ・4 月 9 日(水)は、次年度委員長が出席する地区研修協議会が開催されます。出席された方は 16 日のクラブ協議会で報告して頂きますのでご予約下さい。16 日欠席の方は 4 月 30 日の委員会報告での報告となります。
- ・本日、次年度会員名簿の校正のお願いを配布いたしましたので、ご確認のうえ 4 月 30 日までに事務局にご提出ください。

ゲスト・ビジター

ゲストスピーカー
 ゲスト
 米山奨学生

橋爪千代子様
 安田 雅仁様
 レートウイチャンさん

誕生日祝い

4 月 11 日 笠原健太朗会員
 4 月 12 日 松島 健会員



ニコニコボックス

海江田会長 橋爪様、本日の卓話楽しみにしております。
 土居会員 橋爪さんの卓話、楽しみです。
 大原会員 卓話楽しみにしています。
 角田会員 橋爪様の卓話楽しみにしています。
 和田会員 橋爪様、卓話よろしくお祈いします。紺別もよろしくお祈いします。
 山田会員 先日孫と 2 人で映画をみてきました。楽しく過ごしてまいりました。
 計 13,000 円 累計 823,187 円

出席報告

会員数	36 名	ゲスト	3 名
出席	20 名	ビジター	0 名
ZOOM	0 名	合計	23 名

会長報告 海江田 健司会長

- ・地区より「大船渡大規模山林火災支援金」のお願いが来ていまして、本日募金 BOX を回しております。皆様ご協力よろしくお祈いいたします。
- ・米山記念奨学会より、3 名の方に米山功労者の感謝状が届きました。
 松島会員 (5 回)
 山田会員 (3 回)
- ・米山奨学生レートウイチャンさんに 4 月分の奨学金をお渡しします。



今後の予定

- 4/23 (水) 24 日 (木) 地区大会に振替
- 4/30 (水) (於)東京ドームホテル
 「ROTEX からみた青少年交換プログラム」
 第 56 期 ROTEX 杉村 友菜様
 第 57 期 ROTEX 伊藤 まや様
- 5/ 7 (水) 休会
- 5/14 (水) (於)東京ドームホテル
 「親子はねやすめの報告」
 NPO 法人親子はねやすめ代表理事
 宮地 浩太様

まちライブラリー@ブックハウスカフェ

フランス語翻訳家・まちライブラリー主催 橋爪 千代子様

ウィン・ウィン・ウィンの 「まちライブラリー@ブックハウスカフェ」

「まちライブラリー」とは、「誰でも始められる私設図書館」「本を通して人と出会うまちの図書館」です。

最初のまちライブラリーは、2011年に大阪で誕生し、現在は全国各地に1220ほどあります。日本の公立図書館の数が約3350館なので、まちライブラリーは10年ちょっとで公立図書館の3分の1以上設立されたことになり、今も毎月のように増え続けています。

開設されている場所は、自宅、商業施設、学校、オフィス、寺、駅、高齢者施設、公園、病院などで、運営には個人、NPOや商店街などの団体、企業、行政など様々な人や団体関わっています。

このまちライブラリーを最初に始めたのは、当時森ビルの社員だった礒井純充氏です。本を軸としたこの文化活動を提唱されながら、大学院博士課程でこのまちライブラリーの研究をされ、その集大成が『まちライブラリーの研究 「個」が主役になれる社会的資本づくり』（みすず書房 2024年2月）として本にまとめられています。

まちライブラリー開設はとても簡単で、ネット上の届け出書に必要事項を入力し送信すれば、2~3日後には事務局から開設許可の返信が届きます。運営方法は、それぞれの開設者が自由に決められます。運営者の内訳は個人が58%と一番多く、私が運営している神保町の「まちライブラリー@ブックハウスカフェ」も個人の運営です。が、私ひとりではできない訳はなく、今本義子店主、茅野由紀店長、お店のスタッフ、そしてお店に集まって来られる方々の多大な協力のもと、様々なイベントを開催しています。大半のまちライブラリーは本の貸し出しをしています。ブックハウスカフェは書店なのでその営業を妨げないように、むしろ書店の収益に繋がるように、本の貸し出しはせずにイベント中心の運営をしています。開設のきっかけは、2020年春のコロナでした。2020年3月に公立図書館の司書の仕事を辞めた私は、同年3月にポーランドの絵本原画展に行く予定でしたが、渡航が不可能に。そしてただでさえ不況が続いている出版業界がコロナでさらに追い打ちがかかっている様を見たことにより、まちライブラリーを開設したら、ほんの少しは何かお役に立てるのではないかと思い立ったのです。大型人気絵本店のブックハウスカフェ内に、まちライブラリーという私的な活動をお願いするのは少し気が引けましたが、今本義子店主が快く許可してくださり大変嬉しかったです。

この春、開設してから6年目に入ります。今、振り返りますと、まちライブラリー提唱者礒井氏の「「個」が主役になれる社会的資本づくり」という言葉と理念に心から頷くものがあります。そしてそれを私自身の言葉で言いかえれば、私はまちライブラリーは、「ウィン・ウィン・ウィンの世界」だと感じています。ビジネスでは

ないのでギブ・アンド・テイクではなく、福祉活動ではないのでギブ・アンド・ギブでもありません。もちろんテイク・アンド・テイクでは決してなく、その場にいる人、関わった人誰もが何らかのメリットが得られる世界です。それは収益だったり、本や誰かとの予期せぬ出会いだったり、心の喜びや安らぎだったり様々です。その場その時によって、その人によって得るものは違いますが、誰もが何かを同時にウィンする場なのです。

そして間違いなく、このまちライブラリー@ブックハウスカフェ活動において一番大きな喜びをいただいているのは運営者の私自身です。

まちライブラリーは、社会福祉や社会貢献を目的とした存在ではありませんが、人と人が繋がって優しく豊かな社会を作り上げているという点においては、貴ロータリークラブと一致する部分も多いかと思えます。

近年の社会状況はとてつもなく変化が激しく、また辛く悲しいニュースも多いです。が、どんな時代であっても、本という文化にふれながら人と人が交流することは、私たちの人生を心豊かにして助けてくれることには変わりありません。

ロータリークラブの皆さまと、まちライブラリーがともに、お茶の水をさらに発展させていくことができましたら、こんな嬉しいことはありません。

まちライブラリー@ブックハウスカフェの具体的なイベント内容をお知りになりたい方は、こちらのサイトをご覧くださいませ。

<https://www.facebook.com/profile.php?id=100064856106058>

全国各地のまちライブラリーをお知りになりたい方は、まちライブラリー全体のHPをご覧くださいませ。

<https://machi-library.org/>

参考図書：

『まちライブラリーのつくり方』

礒井純充著 学芸出版社 2015年1月

『「まちライブラリー」の研究 「個」が主役になれる社会的資本づくり』

礒井純充著 みすず書房 2024年2月

